

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 119 (当初計画: No. 一)

東北森林管理局

取組名	低コスト化に向けた現地検討会の開催 (新規)
流域名	最上村山流域 (最上)
重点事項番号	②-21
実施箇所及び実施日	山形県最上郡真室川町 真室川町立中央公民館 及び 山形県最上郡真室川町 上小又山国有林 61 お林小班外 平成 24 年 10 月 17 日
取組の背景及び必要性	間伐においては、高性能林業機械による効率的な作業システムの普及・定着が図られてきているが、労働生産性についてはここ数年伸び悩んでいる状況にある。 このため、森林作業道による効率的な路網の配置・整備が重要となっており、森林作業道のポイントとなる技術の確認及び課題の検討等のため、林業関係者による意見交換の機会を設定する必要がある。
取組の内容	<p>【平成 24 年度の取組内容】 午前の座学において、高性能林業機械の普及状況、森林作業道作設の講義のほか、他署の森林作業道の経過観察をした事例等を紹介し、作設後の実態を確認した。 午後の現地検討会においては、6 班に分かれ今年度作設実行した森林作業道の点検を行い、それぞれ、推奨点・改善点を発表し意見交換を行った。</p>
国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (企画、会場及び現地準備、実行) 東北森林管理局販売課 (講師派遣、指導、助言等)
連携協働相手先・役割	(独) 森林総合研究所森林農地整備センター山形水源林事務所、山形県、真室川町、最上町、鮭川村、戸沢村、最上広域森林組合、金山町森林組合、林業事業体等 (参加団体)
取組の結果、反響、今後の課題等	検討会の主体を「意見交換」においたことから、これまでの現地検討会とは異なり、様々な意見が出され、森林作業道作設におけるポイントの理解を深める結果となった。 今回の検討会での推奨・改善点を踏まえ、更に現場で経験を重ねるとともに、継続して検討会を開催し、署、林業事業体の更なるレベルアップを図る必要がある。
PR の実施状況及びその期待する効果	PR : 山形新聞社にプレスリリース及び支署ホームページへ開催のお知らせを掲載した。 効果 : 山形新聞に掲載されたことにより、国有林の間伐の低コスト化に関する取組について広く理解が得られた。

【参考資料】

取組名	低コスト化に向けた現地検討会の開催（新規）
<p data-bbox="240 504 280 779">森林作業道の現況</p> 	<p data-bbox="975 389 1214 427"><座学の様子></p> 
	
<p data-bbox="432 1417 571 1456">意見交換</p> <p data-bbox="363 1592 571 1630">点検結果発表</p>	<p data-bbox="1358 1189 1398 1496">各班での点検の様子</p>
	<p data-bbox="767 1760 1374 1895">「推奨点・改善点を必ず各班1項目以上発表する」としたため、予想以上に意見が出され活発な意見交換となった。</p>

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 120 (当初計画: No. 126)

東北森林管理局

取組名	民国連携による森林共同施業団地の設定に向けた取組(新規)
流域名	最上村山流域(最上)
重点事項番号	②-22
実施箇所及び実施日	山形県最上総合支庁、各市町村役場、各森林組合 平成24年4月3日外
取組の背景及び必要性	地域の森林整備を推進するためには、これまでのように個々の森林所有者が別々に行うのではなく、地域の森林所有者と隣接する国有林が一体となり、連携して施業を行うなど効率的な森林施業を進めて行く必要がある。
取組の内容	<p>【平成24年度の取組内容】</p> <p>民国が連携した効率的な森林整備を推進するため、下記のとおり森林共同施業団地の設定に向けた取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村及び森林組合等の民有林関係者に対し、森林共同施業団地の取組事例やそのメリット等を説明し、本取組に関する理解と協力を要請した。 ・国有林における間伐及び主伐の森林施業情報を提供し、事業の集約化の可能性について意見交換を行った。 <p>また、民有林側の森林施業情報の提供について要請し、情報を共有したうえで検討を行うこととした。</p>
国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (協力依頼、情報提供、協議等) 東北森林管理局計画課 (指導、助言等)
連携協働相手先・役割	山形県、各市町村、各森林組合 (連携、協力、協議等)
取組の結果、反響、今後の課題等	団地化の設定のためには、国有林が率先して取り組む必要があり、今後においては、林業関係者の意識の向上に向けた普及・啓発の取組を検討する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PRについては、協定を締結した際に、地元新聞者及び市町村広報紙等へプレスリリース予定。

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 121 (当初計画: No. 127)

東北森林管理局

取組名	治山事業による安全・安心の取組のPR (継続)	
流域名	最上村山流域 (最上)	
重点事項番号	④-43	
実施箇所及び実施日	山形県最上郡大蔵村大字南山地内 平成24年6月11日	
取組の背景及び必要性	国有林が実施する治山事業による安全・安心の取組を、より一層地域住民の方々に理解していただくため、見学会を開催するなど積極的にPRしていく必要がある。	
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成23年度に、大蔵村立大蔵小学校の6年生25名及び一般公募による地域住民15名に対し、地すべり防止工事等に関する見学会を開催した。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 平成24年6月11日、地元大蔵村立大蔵小学校の6年生34名を対象に、山形森林管理署最上支署及び共同企業体の職員が、地すべり発生メカニズムや地すべり防止工事の内容を、ジオラマ等を用いて分かりやすく説明し、地すべりにより発生した滑落崖やトンネル排水工等の地すべり防止工事箇所を見学する取組を行った。</p>	
	国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (企画、現地整備、実行) 東北森林管理局治山課 (指導、助言等)
	連携協働相手先・役割	山形県 (事業実施に関する連携、協力等) 大蔵村 (見学会における連絡、調整等)
取組の結果、反響、今後の課題等	国有林が実施する治山事業による安全・安心の取組への理解が、より一層深まった。 今後とも、継続してPR活動を展開する必要がある。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: 山形新聞者あてプレスリリース 最上支署のホームページへ開催のお知らせを掲載。 効果: 山形新聞に掲載されたことにより、国有林が実施する治山事業に対する理解が深まった。	

【参考資料】

取組名	治山事業による安全・安心の取組のPR (継続)
<p data-bbox="204 392 863 427">○地すべり防止工事の立体模型による説明</p>  <p data-bbox="204 958 587 994">○トンネル内の見学状況</p>  <p data-bbox="762 958 1145 994">○トンネル内で記念撮影</p>  <p data-bbox="204 1496 517 1532">○滑落崖の説明状況</p>  <p data-bbox="762 1496 1107 1532">○全員揃って記念撮影</p> 	

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 122 (当初計画: No. 128)

東北森林管理局

取組名	「遊々の森」体験活動に対する支援(継続)
流域名	最上村山流域(最上)
重点事項番号	⑥-61
実施箇所及び実施日	100林班り2小班内で7/6に実施(甌山探究会) 2174林班そ小班内で5/11、10/5に実施(神田妙見塾)
取組の背景及び必要性	教育機関及びボランティア団体から毎年好評を得ていることから、自然環境教育の場としてフィールドの提供や支援活動の充実を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 協定相手方が企画・実施するイベント等に案内人や資材提供等の支援を行ってきた。</p> <p>【平成24年度の取組】 同上</p>
国有林担当部局・役割	最上支署森林ふれあい係 (企画のアドバイス、案内人、技術指導、道具の提供)
連携協働相手先・役割	協定相手方 (企画、募集、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	子どもの健全な育成や自然保護のために、関係機関・団体・地域住民の協力の輪が広がっている。子ども達も遊々の森での自然観察や体験活動を通じて、自然の大切さを学ぶよい機会となっており好評を得ている。今後も引き続き要請に応えていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	マスコミに取材要請(PR)したが当日は来なかった。ニュースなどで取り上げてもらうことによりPR効果が大きいことから、マスコミが飛びつくような企画実施が必要。

【参考資料】

取組名	「遊々の森」体験活動に対する支援（継続）
	○ 会長あいさつ
	○ 参加は及位中学校生徒
	○ へ～、ブナの葉っぱに種類ってあるの？

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 123 (当初計画: No. 129)

東北森林管理局

取組名	森林ガイド事業の実施 (継続)
流域名	最上村山流域 (最上)
重点事項番号	⑥ - 61
実施箇所及び実施日	最上支署管内 鮭川村大字曲川字興藏峠国有林ほか 平成 24 年 5 月 28 日 (下見)、6 月 3 日 (実施)
取組の背景及び必要性	森林環境問題や森林の公益的機能を考えるためにフィールド提供しながら森林に関する意識の高揚を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 鮭川村観光協会などが主催する国有林をフィールドにした森林探索のイベントにスタッフ等の派遣支援を実施してきた。</p> <p>【平成 24 年度の取組】 同上</p>
国有林担当部局・役割	最上支署 (企画、説明等の案内スタッフ)
連携協働相手先・役割	鮭川村観光協会、羽根沢温泉旅館組合、商工会、NPO 団体等 (企画、実施全般)
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者はリピーターが多く、毎年好評を得ている。
PR の実施状況及びその期待する効果	<p>村のホームページ、手作りのリーフレットにより広範囲による募集を行っている。</p> <p>リピーターのほか口コミ等により人気を広まり、他県も含み毎年 100 人前後の参加者になっている。</p>

【参考資料】

取組名	森林ガイド事業の実施（継続）
-----	----------------



○ 出発前に班ごとでの記念撮影です。



○ 新緑のブナ林の中を「まぼろしの滝」と「与蔵沼」を目指して進みます。

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 124 (当初計画: No. 131)

東北森林管理局

取組名	教育機関等からの要請に応じた野外活動の指導 (継続)
流域名	最上村山流域 (最上)
重点事項番号	⑥-61
実施箇所及び実施日	山形県最上郡舟形町大字堀内字三ツ森獅子街道国有林 ふながた薬師の森 (遊々の森) 6 / 1 オカリナコンサート (堀内小全児童・保護者) 10 / 11 ふながた薬師の森観察会 (舟形中1年生) 10 / 11 " (山形市女性グループ) 10 / 21 自然環境保全活動 (山形大学生)
取組の背景及び必要性	地球環境問題等から野外活動等を通じた体験学習のフィールド提供を求められており、野外活動を行うための講師派遣などの協力をする。
取組の内容	【これまでの取組内容】 舟形町教育委員会から森林環境教育の一環として森づくり体験教室の要請を受け、国有林のフィールド提供、講師派遣を行ってきた。 【平成 24 年度の取組】 同上
国有林担当部局・役割	最上支署、森林事務所 (フィールド、道具の提供、講師派遣)
連携協働相手先・役割	舟形町教育委員会、ブナの実 21 など (企画、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	地元からの要請に応えることは今後のつながりを保つためにも必要不可欠である。 将来を担う子ども達に自然とのふれあいや楽しさを知ってもらうことは大いに必要と考える。
PR の実施状況及びその期待する効果	地元広報誌や管内小学校での実施状況を把握し、都度リーフレット等での PR に努め、今後の森林環境教育の推進につなげる。